



—東北生産性本部—

第35回仙台シンポジウムスタート



■6月例会(6月22日開催)62名参加

☆テーマ「2012年日本及び世界の経済情勢」～宮城経済の課題と成長展望～

☆講師 第一生命経済研究所 経済調査部主席エコノミスト 永濱利廣 氏



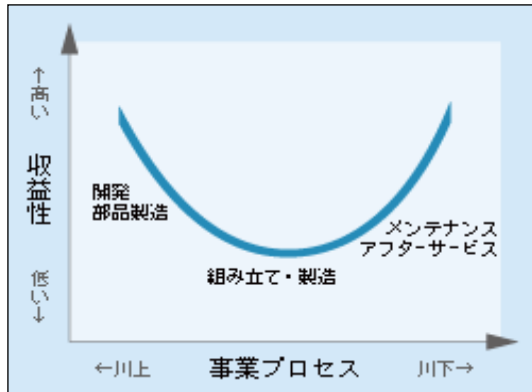
■7月拡大例会(7月12日開催)126名参加

☆テーマ「震災後の地域経済活性化の方向性」

☆講師 慶應義塾大学大学院法学部教授 片山善博 氏

宮城県仙台市青葉区本町二丁目六番十二号 <http://www.t-productivity-ce.jp> HP 掲載中

★第35回仙台シンポジウムがスタートしました。6月例会、7月拡大例会両講師共に、阪神淡路大震災ならびに鳥取県西部地震時の実績から、**震災復興時の需要増から復興後の需要減少への備えとしての中長期的な成長展望を考えておくことが重要**であるとの指摘がありました。とりわけ片山教授からはスマイルカーブの原理（下図参照）に基づき「付加価値が高く知的財産権を生む分野に力を入れてほしい」と強調されました。



スマイルカーブの解説（左図）

事業プロセスの川上に位置する商品開発や川下のメンテナンスなどの部分は収益性が高いが、中間の製造段階では儲からない傾向にあり、地方経済は組み立てなどの下請け構造になっていることから、付加価値の高い設計や開発、デザインなどの知的財産権の分野に力を入れる必要がある。

<第35回仙台シンポジウム 今後の予定>

例会（開催日）	テーマ	講師
9月拡大（11日）	これからの日本の行方	（財）日本総合研究所理事長 寺島実郎 氏
10月拡大（26日）	大阪都構想から見る行政改革と経営戦略	大阪維新の会政策顧問 上山信一 氏
11月（16日）	国家財政と税財政の本質	元国税庁長官 大武健一郎 氏
12月（13日）	変革する国際情勢と日本の役割	国際政治アナリスト 小川和久 氏

*全例会とも会場は仙台商工会議所会館7階大会議室、時間帯は14時から15時半です。今後の各例会に参加ご希望の方は、東北生産性本部（TEL 022-261-0411）までご連絡下さい。

第一義 ～震災復興のひかりとなるか～

6月27日より就任いたしました吉田と申します。齋藤前常務理事の実績が大き過ぎてプレッシャーに押しつぶされそうな気持ちでいっぱいですが、精一杯努力する所存ですので皆さまからのご指導方宜しくお願い致します。さて、7月1日に誕生した「トヨタ自動車東日本」（宮城県大衡村）の発足式では「車造りを通じ東北の未来をつくりたい」「東北の復興なくして日本の復興はない。トヨタ東日本がその原動力となる」との豊田社長の決意表明がありました。皆さんご案内のように自動車産業は裾野が広く東北全体が一体となって産業集積化を加速させることが肝要であります。当本部としても微力ながら東北のものづくり、特に自動車産業の発展に寄与できる活動を展開していきたいと切に願っておりますので皆さまのご支援ご協力をよろしくお願い致します。（記S・Y）